

我孫子市消費者の会

お知らせ

2019年4月17日 第45期 No. 1-513

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.net/wp/>

今年は桜が咲いてから気温の低い日が続き、長い間楽しめましたね。風邪を引いた方は無いでしょうか？

総会にご出席ください

昨年はお亡くなりになった方などがあり、第45期は99名で出発することになりました。

下記の通り総会と、内輪ながら記念講演会を開きます。是非ご出席ください。

日時 5月13日(月) 13:30~16:30

会場 我孫子南近隣センター 8階 調理室

第1部 講演「特殊詐欺の新しい手口」

講師 建石和子さん(相談員)

第2部 総会

第3部 5月定例会

いつもの様に欲張った内容ですが、最後までご参加ください。

総会資料を配布します。会員名簿が付いていますので、取扱には十分ご注意ください。欠席の方は、委任状を近くの役員・運営委員に4月中にお届けください。

今年は緑のカーテンの講習会は中止。

石垣島のモズクの共同購入も中止しました。

消費者フォーラム in 千葉(県主催)

日時 5月29日(水) 13:00~15:30

会場 千葉市生涯学習センター(千葉駅8分)

講演 「私達の選択が未来を変える~エシカル消費のすすめ~」

講師 末吉里花さん(エシカル協会代表理事)

その他展示等

近ごろ注目され始めている「エシカル消費(倫理的消費)」。持続可能な社会の構築のため、人・社会・環境に配慮した消費行動やライフス

タイルを意味しています。買い物や食など、身近なところから誰にでもできる社会貢献の方法を学んでみませんか。

今年度からは、消費者団体の実行委員会は無くなり、県が独自に企画しました。

申込 04-7183-1434 和田へ

5月13日まで。(交通費は会負担)

防災と食品ロス

千葉県消費者団体連絡協議会として、2017年度の県民提案事業で、「食品ロスを減らそう(残さず食べよう)」ということに取り組みました。啓発活動としてアンケートを取りながら、忘れないために冷蔵庫に張るマグネットを作りました。まだ、使っていらっしゃいますか？

マグネットには・買いすぎない・食べ切る・世界中から飢えをなくしたい・月に1度は残り物の整理・私の冷蔵庫整理は「」日と。今でもこれを守っていらっしゃいますか？

残念ながら4月に発表された環境庁の食品ロス推計値は、633万トン。全然減っていません。2年前より1万トン増えています。業界も真剣に取り組んでいますが、恵方巻きやバレンタインデいの残りが新聞に載るように、「売らんかな商法」で増えた商習慣が続いています。

消費者庁は防災対策も「食品ロスにしない備蓄のすすめ」として、国民に呼びかけています。私達も改めて確認しましょう。

一部を掲載します。防災のための備蓄が「食品ロス」を産むようでは本末転倒ですものね。



ふだん使いでカンタン備蓄

- ①少し多めの買い置きで備える
- ②ふだんの食事で食べる
- ③食べたら買い足す

地震や大雨などの自然災害は、ふだんの生活を一変させてしまいます。そういうときでも、生きて活動するために、食べなければなりません。毎日の少し多めの買い置きで備えます。包装を開けたらすぐに食べられるものを選びましょう。

なにを備える？

発災直後の緊急時のため、そのまま食べたり飲んだりできる物、併せて主食やおかずになるものを備えます。

・エネルギーの確保

すぐに食べられるもの
レトルトかゆや雑炊
ビスケット、クラッカー
缶入りパン、シリアルなど

・水分の補給

飲料水、野菜ジュース、茶飲料など

・心の栄養の確保

一口ようかん、フルーツ缶、プリン缶など

・主食になるもの

レトルトご飯、レトルト赤飯、アルファ飯

・おかずになるもの

缶詰類（魚、豆、）野菜スープ、ソーセージ

これまで備蓄は3日分と言われてきましたが、非常に広い地域で甚大な被害を及ぼす可能性のある災害を想定して、1週間程度の備蓄が望ましいとされています。家族や自分に合った備えをしていきましょう。

そしてそれが「食品ロス」にならないよう、使いまわしできるように、消費期限の近いものから順番に食べ、補充していきましょう。

防災のためには、カセットコンロ（ボンベ）も重要です。いつでも使えるように。

以上は消費者庁の資料から、編集しました。

東海第二原発について

東海第二原発については先月も書きました。自然エネルギーを推進するところに、契約しましょうと、書きました。定例会で聞いたところ、数人の方が変更していました。

一方、政府は原発維持のために、新たな制度を導入しようとしていることがわかりました。

・経済産業省が老朽原発に有利な制度を導入しようとしています。小売業者からお金を集めて発電事業者に渡す「容量市場」。電気そのものではなく「設備容量」に応じてお金を渡そうという制度です。

これは大きくて古い発電所が有利＝老朽原発優遇策です。100万kw級の原発1基では年間100億円。20年間で2000億円が黙っていても入ってくる制度。

「容量市場」を導入すれば電気そのものの価格低下により、負担は相殺する理屈ですが、理屈通りに行かなかった場合は電力消費者が負担することに。初回オークションは2020年度。

・老朽・東海第二原発の安全対策費は3000億円に膨れ上がっています。銀行が融資を渋り、東電が1900億円の支援をすることになっているとの情報が入っています。

～ ～ ～ ～ ～ ～

講演会 川崎哲（あきら）氏（憲法を考える市民の集い）5月4日（土）14:00～16:00

けやきプラザホール 500円 先着順500名

映画会「モルゲン 明日」（実行委員会）5月11日（土）10:30～12:30 14:00～16:00

けやきプラザホール前売り800円当日1000円

・・・・・・キリトリ・・・・・・

委任状

我孫子市消費者の会の第45期の総会に関する権限を さんに委任します。

氏名

住所